

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 28日

事業所名 littleデイ  
ジニ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	8			車椅子の通り道や同線 についても家具等の配 置に工夫している	
	2	職員の配置数は適切である	8			職員全体にも、職務会 にて勤務表の見方や 勤務体制の組み方を 説明し理解を得てい る。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	8			階段の手すり、エレ ベーターの設置、家具 の配置などに工夫して いる。	トイレの手すり設置など、トイレの改善が必要なので工夫して いきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	8			新しい取り組みをする 場合は前もって伝え、 広く意見を求め職員全 体で改善している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	8				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	8				
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	8				
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	8				
適切な支 援の提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8			児発管だけでなく、職 員全員に必要な会議 やアセスメントについ て知ってもらえるよう に説明している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	8			えいぶるノートを基本と し、それに付随して事 業所のツールも使用し ている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行ってい る	8				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	8				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	8			長期休みなどでは公共 の場へ積極的に課外 活動に行く等計画を立 て実行している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	8				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	8				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	4	3	1	支援終了後は勤務形 態の関係で難しいので 翌日の午前中で振り返 り共有する。緊急で全 体に回すべきことは、 連絡ツールを使って共 有している。	翌日の振り返りだと忘れてしまうこともあり、午後から勤務する 職員もいるので、ノート等に記録し全員が確認出来るような工 夫をする。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	8				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	8			ガイドラインについて分からない職員が多かったため、印刷し周知文書として時間をかけて目を通してもらえるようにした。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8			児発管に限らず、児童の様子をよく知る職員が参加できるようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8			変更などあればお便りノートだけでなく、連絡アプリなども活用し連絡を取り合うようにしている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				医療的ケア児の受け入れ無し。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている				医療的ケア児の受け入れ無し。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8			よその事業所へ移行する場合、慣らし期間を経て少しずつ日数を増やすよう勧め、会議にて情報共有できるようにしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	6	1	1	隣の公園で地域の児童との関わりはある。お互いに顔見知りになり、児童によっては、関わり遊ぶ姿もある	団体との交流はしたことが無いので、児童館の利用などを計画していきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	1		告知があるものに関しては、代表で事業所から一人、必ず参加するようにしている。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8				
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	8			相談支援を行い一緒に悩みを共有し家庭と事業所連携して支援している。	利用している人に偏りがあるので、今後は保護者の希望を聴いて、ペアトレも実施していきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8			契約時、契約更新時に細かく説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			カウンセラー資格を取得した職員を主な窓口とし、相談支援を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	8			保護者会の開催しており、保護者同士で情報共有したり話し合ったりする機会がある。	一方で、参加する方、しない方が毎回ほぼ同じなので、参加しやすい日程や内容を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8			苦情については全員に周知し、全体への連絡事項としてすぐに共有している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			毎月発行の事業所だよりはカラー写真入りで好評いただいている。	
	35	個人情報に十分注意している	8			書類は鍵付き書庫にて保管し、職員へも守秘義務について伝え秘密保持誓約書ももらっている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8			毎日やりとりしている連絡ノートや連絡ツール、お電話やLINEなど、それぞれの保護者のやりやすい方法でご意見を頂いている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	2	1	ハロウィン道ジュネーなど地域へ出ていくことはよくあるが、受け入れるイベントは行っていない。	地域の住民を招待する行事は行っていない。他事業所の取組例などを聴いて出来る方法を検討していきたい。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	8			マニュアル整備し職員が見やすい場所に配置している。	保護者の目に届かないので事業所だよりで周知出来るようにするなど工夫する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		R5年度から、感染防止については研修形式の机上訓練と組み合わせるようになっている。	避難訓練以外にも、不審者防犯訓練もやってほしいと声があったので検討する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8			動画研修を利用し、それぞれで可能な時間に閲覧してもらっている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8			職員には身体拘束に関するマニュアルに目を通してもらいその研修を定期的に行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8			アレルギー項目の多い児童については弁当おやつ持参をお願いしている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8			毎月の職務会にて、記録しておいた一カ月分の事例を共有している。	